I 法人本部

1. 基本方針及び基本理念

1997年法人設立当初より掲げてきた、自然との共生を目指し、ものづくりひとすじの思いを土台とした法人運営を行ってきた。

～ 基本理念 ～

- ・ 私たちは、自然との共生・地球環境の保全に寄与し、資源の循環を目指します
- ・ 私たちは、自然の中に生かされていることを自覚し、地域とともに、共生社会の発展に努めます
- ・ 私たちは、利用者さんの自己実現のために、一人ひとりにしっかり寄り添い、声なき声をくみ取ります
- ・ 私たちは、職員一人ひとりが法人の一員であることを自覚し、社会人として常に研鑽を積んでいきます

—— 平成28年2月25日制定 ——

2. 令和2年度 重点取り組み事項

(1) 社会福祉法人遠江学園中期経営計画の推進 (2020年度～2024年度)

社会福祉法人に求められている使命を果たすため、基本方針、基本理念を軸に、目指すべき将来像を明確にし、組織として取り組むべき方向を示す中期経営計画を策定、初年度となった。

各事業所の行動計画のもとに事業計画及び当初予算を計上した。1年目の進捗状況は、達成できた項目は約50%、課題は若干残っているが概ね達成を含めると90%弱の達成。

次年度にむけて、順調に推移している。

詳細については、事業所毎、事業報告として掲載。

(2) 働き方改革の推進

年次有給休暇の積極的な取得推進を目指した。

従来は、上司に休暇の申し出を口頭で行い、休暇届を提出していた。

令和2年度からは、各自が有給休暇の日数等管理を行い、必要時、休暇届を提出する方法に変更、取得しやすい環境を整えた。

3. 評議員会・理事会等

(1) 評議員会 (1回)

開催月日	出席者数	審議事項
令和2年6月24日	評議員 6名 理事 2名 監事 2名	<ul style="list-style-type: none">・ 決議事項 令和元年度計算書類 (貸借対照表及び収支計算書) 附属明細書並びに財産目録の承認の件 定款変更の件・ 報告事項 令和元年度事業報告の件 中期経営計画について

(2) 理事会 (5回)

開催月日	出席者数	審議事項
令和2年6月9日 第1回	理事7名 監事2名	<p>決議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和元年度事業報告 令和元年度計算書類、附属明細書及び財産目録承認 令和2年度第一次補正予算について 定款変更について 定時評議員会の招集について <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 理事長及び業務執行理事の職務執行状況の報告 中期経営計画について
令和2年8月14日 第2回 決議の省略	理事7名 監事2名	<p>社会福祉法第45条の14第9項が準用する一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第96条及び定款第26条に基づく理事会の決議の省略</p> <p>決議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> まつかさ運営規程の改正 定款第二十二条 施設の長の人事について
令和2年10月30日 第3回 決議の省略	理事7名 監事2名	<p>決議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和2年度第二次補正について
令和2年12月16日 第4回	理事6名 監事2名	<p>決議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和2年度第三次補正予算 給与規程の改正 <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 理事長及び業務執行理事の職務執行状況の報告
令和3年3月24日 第5回	理事6名 監事2名	<p>決議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和2年度第四次補正予算 令和3年度事業計画、当初予算について 評議員選任解任委員会の開催について 次期評議員候補者の推薦について 役員等報酬規程の改正について 定款細則の改正について 公益通報者保護に関する規程の制定 ハラスメント防止規程の制定

(3) 監事監査 (業務執行状況、及び財産の状況を監査)

開催月日	種別	監査項目
令和2年5月25日	決算監査	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度事業報告書 令和元年度計算書類及びその附属明細書並びに財産目録
令和2年11月24日	定期監査	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度中間(令和2年4月～令和2年9月)業務監査・会計監査

(4) 会計事務所による月次指導

開催月日	内 容
毎月1回	・会計処理業務の指導及び経営支援

(5) 浜松市による社会福祉施設等の指導監査（法人監査）

開催日時	指 導 項 目
令和3年1月22日	<ul style="list-style-type: none"> ・文書指摘事項 1件 監事の選任について、監事の過半数の同意を得た記録がないことが認められた。記録を残すこと。 ・口答指摘事項 10件 評議員選任解任委員の任期途中の変更については、辞任届を、また、履歴書を徴してないことが認められた。徴しておくこと。他9件

4. 会議・研修等

(1) 内部会議

会 議	実施（曜）日	参 加 者
運営会議	月1回	理事長、園長、事務長
企画会議	第2火曜日	園長、事務長、主任
工賃評定会議	半年に1回・適宜	園長、サービス管理責任者、主任
職員会議	毎月1回 毎朝(15分)、毎夕(15分)	全 員
支援会議	2か月に1回・適宜	全 員

(2) 内部研修

研 修 名	内 容
自己啓発研修	・業務の振り返りチェックシートを使用して自己啓発につとめた。
内部研修会	・キャリア別グループ討議、先輩職員から学ぶ、仕事の姿勢等。
年度末職員研修	・令和3年度事業計画・会計予算、授産事業のまとめ 障害者虐待防止、ハラスメント防止、コロナ感染症対策等 規程について、他意見交換。
個別支援研修	・事業所毎に研修計画を立て、年間6～12回実施。 支援への共通認識を深め、相談しやすい職場づくりも兼ねた。

(3) 外部会議

- ・管理部門研修： 新型コロナの影響でほとんど中止。
- ・キャリアアップ研修： 年間7回の研修に、施設長・サビ管他、10人が参加（リモート研修）

5. 施設運営

(1) 施設の概要

(令和3年3月31日現在)

名 称	ひくまの		みなみ	まつかさ	やしま		あかね	
種 類	生活介護	就労継続支援 B型	就労継続支援 B型	就労継続支援 B型	共同生活 援助	短期 入所	共同生活 援助	短期入所
利用定員	15	40	25	20	7	1	7	1
在籍数	17	46	29	19	7	—	7	—

(2) 施設整備及び主な修繕（100万円を超えるもの）

①施設整備
なし

②主な修繕

(単位：千円)

事業所名	内 容	金 額
ひくまの	工房トイレドア・便器、玄関ドア修理	1,089千円

6. 職員構成

(令和2年年3月31日現在)

施設等 職種	多機能型事業所 「ひくまの」		就労継続支援B型 「みなみ」	就労継続支援B型 「まつかさ」	共同生活援助 「やしま」	共同生活援助 ・短期入所 「あかね」	計
	就労B	生活介護					
管 理 者	1		1	1	1(兼)	1	4
嘱 託 医		1 (1)					1 (1)
サービス管理責任者	1	1	1	1(兼)	1(兼)	1(兼)	3
職業指導員	4 (1)		3 (1)	3			10 (2)
生活支援員	6 (3)	3 (1)	4 (4)	1 (1)	4(兼) (3)	2(兼) (1)	18 (13)
看 護 師		2 (1)					2 (1)
世 話 人					6 (6)	5 (5)	11 (11)
事 務 員							0
運 転 手			2 (2)				2 (2)
計	19 (7)		11 (7)	5 (1)	9 (9)	7 (6)	51 (30)

※ () 内の数字は準職員の数で再掲。 ※ 産休・育休の職員は含まれていない。

7. 主な年間共通行事

実 施 日	行 事 名
令和2年5月20日 令和3年1月8日 令和3年3月23日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家族会総会 書面総会 ・ 新成人を励ますつどい ・ 令和3年度入所式 (ひくまの、みなみ、まつかさ、各事業所にて実施)

Ⅱ ひくまの（多機能型事業所）

1. 施設運営

(1) 生活介護事業

日常生活に必要な食事、整容、排泄等の介護や働くこと、創作活動などの機会を日中活動の中で提供し、「スマイル」の通称のように利用者の喜びや自己実現を活動を通じて支援し、また、個別支援計画に沿い、きめ細やかな支援を提供した。

本館2階を主会場としてスマイル独自の独立した活動を意識して展開し、利用者の意思決定を大切にしながら日中活動を提供してきた。また生産活動では、スマイル独自の商品積極的に開発し、販売等につなげてきた。

新型コロナウイルス感染症等への対策として、清潔な環境を整え、手洗い、手指消毒、検温を行い、感染予防に努めた。

(2) 就労継続支援事業（B型）

働く場として就労の機会を提供し、利用者の働く喜びが保障され、働く力、人として生きていく力が備わるよう個別支援計画に沿い、きめ細やかな支援を提供した。

作業内容は、小規模多機能の形態を維持し、利用者の意思決定が毎日の生活や活動に充分反映されるような日中活動を展開した。

就労継続支援事業所として、新たに「働く」という視点を重要視し、工賃向上も視野に入れた支援体制を目指し、障害の特性に合わせた個別支援体制も充実させてきた。

新型コロナウイルス感染症への対策として、清潔な環境を整え、手洗い、手指消毒、検温を行い、感染予防に努めた。

2. 中期経営計画（別紙）

3. 施設利用状況

(1) 生活介護（定員15名）

項 目		単位	令和2年度 実績	令和元年度 実績	平成30年度 実績
施設利用状況	開所日数	日	259	258	256
	契約者数	人	17	17	17
	延べ人数	人	4,074	4,015	3,940
	1日平均	人	15.7	15.6	15.4
利用率	%	104.8	103.7	102.6	

・利用者の状況（令和3年3月31日現在）

地域別	浜 松 市							磐田市	掛川市	湖西市	合 計	
	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区				男	女
	1	1	2	7	4	0	0	0	0	2	17	
年齢別	18歳 ～19歳	20歳 ～29歳	30歳 ～39歳	40歳 ～49歳	50歳 ～59歳	60歳 ～64歳	65歳 以上	性別	男	女		
	0	5	7	4	1	0	0	11	6			
障害支援 区分別	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1	平均支援区分	未判定				
	2	7	8	0	0	0	4.6	0				
手帳所持別	身体障害者手帳					療育手帳		精神障害者保健福祉手帳			重複 所持	手帳 なし
	1級	2級	3級	4級	5級以上	A	B	1級	2級	3級		
	0	1	1	0	0	16	1	0	0	1	3	0

(2) 【就労継続支援B型】 (定員40名)

項 目		単位	令和2年度 実績	令和元年度 実績	平成30年度 実績
施設利用状況	開所日数	日	259	258	256
	契約者数	人	46	46	49
	延べ人数	人	10737	11251	11091
	1日平均	人	41.4	43.4	43.4
	利 用 率	%	103.6	108.6	108.3

・利用者の状況 (令和3年3月31日現在)

地域別	浜 松 市							磐田市	掛川市	湖西市	合 計	
	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区				性別	男
年 齢 別	18歳 ～19歳	20歳 ～29歳	30歳 ～39歳	40歳 ～49歳	50歳 ～59歳	60歳 ～64歳	65歳 以上	平均年齢区分	未判定			
	0	16	14	7	5	4	0				27	19
障害支援 区 分 別	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1	平均年齢区分	11				
	0	1	9	18	7	0	3.1					
手帳所持別	身体障害者手帳					療育手帳		精神障害者保健福祉手帳			重複 所持	手帳 なし
	1級	2級	3級	4級	5級以上	A	B	1級	2級	3級		
	1		0	0	1	25	20	0	0	0		

4. 就労支援事業

(1) 生活介護(スマイル)：全体

(単位：円)

事 業	令和2年度収入	令和元年度収入	差 額
自主作業	25,400	21,700	3,700
下請作業	171,684	230,653	△58,969
合 計	197,084	252,353	△55,269

①自主作業

(単位：円)

作業種目	令和2年度収入	令和元年度収入	差 額
果樹園芸	17,350	14,800	2,550
染織縫製	8,050	6,900	1,150
合 計	25,400	21,700	3,700

(2) 就労継続支援B型：全体

(単位：円)

事 業	令和2年度収入	令和元年度収入	差 額
自主作業	3,328,763	3,281,129	47,634
下請作業	9,083,265	7,544,049	1,539,216
合 計	12,412,028	10,825,178	1,586,850

①自主作業

(単位：円)

作業種目	令和2年度収入	令和元年度収入	差 額
果 樹 園 芸	1,129,701	962,239	167,462
染 織 縫 製	758,704	414,245	344,459
食 品 加 工	1,440,358	1,904,645	△464,287
合 計	3,328,763	3,281,129	47,634

②受託作業

(単位：円)

作業種目	令和2年度収入	令和元年度収入	差 額
施設外就労	6,485,935	4,671,662	1,814,273
優先調達関連作業	480,800	317,798	163,002
下 請 作 業	2,081,807	2,424,875	△343,068
その他販売手数料	34,723	129,714	△94,991
合 計	9,083,265	7,544,049	1,539,216

5. 工賃実績

(1) 生活介護事業：月別

(単位：円)

工 賃	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年度
総支給額	11,900	14,430	11,210	7,030	14,920	12,290	16,610	15,910	51,760	13,620	11,730	16,260	196,950	252,010
月最高額	1,060	1,350	980	570	1,380	1,080	1,540	1,370	3,620	1,190	1,060	1,510	1,393	1,707
月額最低額	490	570	440	270	570	330	550	500	2,520	470	200	200	599	822
月平均額	700	849	414	414	878	723	977	894	3,045	801	690	956	966	1,235

※令和2年12月は賞与を含む。

(2) 就労継続支援B型事業：月別

(単位：円)

工 賃	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年度
総支給額	649,860	649,760	649,890	649,810	649,770	749,770	749,590	749,930	1,209,730	799,820	799,820	799,750	9,107,500	7,420,990
月額最高額	32,560	32,730	33,060	32,040	30,510	38,140	37,740	37,340	44,970	58,570	39,890	39,170	38,052	27,295
月額最低額	3,520	6,230	5,100	4,830	4,490	7,200	5,890	4,930	15,830	1,000	1,000	1,000	4,682	3,284
月平均額	13,849	13,959	13,848	13,843	13,867	16,058	16,258	16,281	26,277	17,366	17,387	17,386	16,364	12,809

※令和2年12月は賞与を含む。

※工賃支給対象者に、年度途中入所者、及び退所者、入院中の利用者も含む。

6. 生活支援

(1) クラブ活動

ク ラ ブ 名	講 師	参加人員	備 考
卓 球 ク ラ ブ	木村由美子、小林利到子	5名	毎月1回実施
音 楽 ク ラ ブ	永吉 真弓	6名	毎月1回実施
ア ー ト ク ラ ブ	職 員	10名	毎月1回実施

ダンスクラブ	ヒロタップダンスシティ	7名	毎月1回実施
アクティブクラブ	職員	7名	毎月1回実施
パラスポーツクラブ	職員	7名	毎月1回実施
美味しんぼクラブ	職員	4名	毎月1回実施

- ・新たに「美味しんぼクラブ」を新設し、利用者の選択の幅を広げた。各々の希望を取り入れて、楽しく活動した。卓球クラブ、パラスポーツクラブは新型コロナウイルスの影響でわかふじスポーツ大会は中止となり不参加であった。
- ・スマイルでは、新型コロナウイルスの影響で愛護ギャラリー展などへの出展はできなかったが、アートクラブ、ウオーキングクラブ、音楽クラブなどの活動を継続して行った。

(2) 茶話会

毎月1回(毎月第4金曜日)に、工賃分配及び誕生会、話し合い、レクリエーション等を行った。

利用者の親睦及び利用者の意見交換の場として大切に位置づけてきた。その月の誕生者には、今年度は引佐草の根作業所から購入した多肉植物をプレゼントし、全員でお祝いをした。

秋の旅行は新型コロナウイルスの影響の為に中止となったが、代替えとして仕出しの昼食をみんなで一緒に食べ、午後はカラオケやドライブなどのレクリエーションを実施した。

(3) 社会活動

利用者が楽しく豊かな日中活動を送ることができるよう、次のような地域社会活動に積極的に参加した。

7. 災害防止対策

学園内の事故防止、通園途中の交通事故防止についての指導をその都度実施した。

また火災、地震を想定した防災訓練を3ヶ月に1回実施し、合わせて防災設備の自主点検を行った。

実施日	訓練種目	参加者	発生時刻	内 容
令和2年 5/21 (木)	地震・避難	利用者 56人 職員 16人 72人	11時00分	・作業を内、外複数の場所で行っていることを想定して行った。 ・日中活動ネームプレートを活用し、迅速な人員報告ができるようにした。
7/17 (金)	火災避難・ 通報	利用者 50人 職員 15人 65人	14時00分	・午後の作業時間中、伝達を正確に行い、迅速な避難を行った。 ・消防署への通報訓練も正確に伝えられるよう確認をした。
11/6 (金)	火災避難、及び担架による救急搬送訓練	利用者 53人 職員 15人 68人	11時00分	・職員の指示に従い避難、人員報告を行った。 ・担架の使用法(持ち方、搬送の仕方、声の出し方)を利用者も体験した。
令和3年 3/16 (火)	地震・避難	利用者 57人 職員 15人 72人	14時00分	・職員の声掛けにより、机の下に潜る等の一時避難ができ、人数確認までスムーズに行えた。

8. 地域公益事業

(1) 生活困窮者就労訓練事業の実態

受け入れはなかったが、引き続き自立相談支援機関（生活自立相談支援センター「つながり」）と連携して受入れ準備をしてきた。

9. 福祉施設実習及び産業現場等における実習

福祉施設実習の受入れは2校、産業現場等における実習の受入れは2校であった。

月	来客者数		見学者数		実習者数		ボランティア数		備考
	令和2年度	令和元年度	令和2年度	令和元年度	令和2年度	令和元年度	令和2年度	令和元年度	
4	4	3	4		1		6	9	
5	3	8		6		2	11	9	
6							11	11	
7	3	4	3	2		1	13	8	
8	4	8	6	8	1		5	5	
9	1	4	4		4	4	7	6	
10	9	1	1		1	2	11	9	
11	5	1		3	3	6	11	16	
12	4		3		3	2	12	7	
1			5		1		7	9	
2	5	2			2		12	9	
3	11	2	1			1	6	12	
計	49	33	27	19	16	18	112	110	

Ⅲ み な み (就労継続支援B型事業所)

1. 施設運営

- ・事業所が日々明るく楽しい生活の場でなくてはならないという観点を重視し個別支援計画に基づいて本人の希望や家族の思いが充分反映されるよう一人一人にきめ細やかな支援を心がけて活動を行なった。
- ・作業を通じて労働集団の豊かな形成につとめると共に働く場との意識向上につとめた。また、療育的な支援や余暇活動の充実等、総合的な支援を行なった。

2. 中期経営計画 (別紙)

3. 施設利用状況 (定員25名)

項 目		単位	令和2年度 実績	令和元年度 実績	平成30年度 実績
施設利用状況	開所日数	日	259	258	256
	契約者数	人	29(退所0名)	27(R2.2退所3名)	24(H31.3退所1名)
	延べ人数	人	6,580	5,843	5,210
	1日平均		25.4	22.6	20.4
	利用率	%	101.6	90.6	101.8

・利用者の状況 (令和3年3月31日現在)

地域別	浜 松 市							磐田市	掛川市	湖西市	合 計	
	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区				男	女
	8	1	10	7	3	0	0	0	0	0	29	
年齢別	18歳 ～19歳	20歳 ～29歳	30歳 ～39歳	40歳 ～49歳	50歳 ～59歳	60歳 ～64歳	65歳 以上	性別	男	女		
	1	10	10	4	1	1	2		22	7		
障害支援 区分別	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1	平均支援区分	未判定				
	6	2	11	6	3	0	4.1		1			
手帳所持別	身体障害者手帳					療育手帳		精神障害者保健福祉手帳			重複 所持	手帳 なし
	1級	2級	3級	4級	5級以上	A	B	1級	2級	3級		
	2	2	0	0	1	23	6	0	0	1		

4. 就労支援事業：全体

(単位：円)

事 業	令和2年度収入	令和元年度収入	差 額
自主作業	873,271	967,336	△94,065
下請作業	4,155,917	2,845,071	1,310,846
合 計	5,029,188	3,812,407	1,216,781

①自主作業

(単位：円)

作業種目	令和2年度収入	令和元年度収入	差 額
果樹園芸	216,930	315,824	△98,894
染織縫製	656,341	651,512	4,829
合 計	873,271	967,336	△94,065

②受託作業

(単位：円)

作業種目	令和2年度収入	令和元年度収入	差 額
公園環境整備			
清掃作業	4,155,917	2,845,071	1,310,846
下請作業			
合 計	4,155,917	2,845,071	1,310,846

5. 工賃実績：全体

(単位：円)

工 賃	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年度
総支給額	259,750	274,790	274,740	274,780	289,700	389,780	389,680	389,700	669,700	389,730	389,750	469,730	4,461,830	3,218,180
月額最高額	20,650	21,080	21,580	20,700	22,130	29,790	31,110	30,600	41,200	31,470	30,290	30,030	27,553	19,799
月額最低額	3,730	3,360	2,190	1,000	1,000	4,830	4,420	4,180	11,630	1,000	2,460	7,850	3,971	2,452
平均工賃月額	9,620	10,177	10,176	9,814	10,346	13,921	13,917	13,918	23,918	13,919	13,920	16,776	13,398	10,348

※令和2年12月の総支給額は賞与（一律10,000円、¥280,000）と令和3年3月年末手当（一律5,000円、¥140,000）を含む。

※工賃支給対象者に、年度途中入所者、及び退所者、入院中の利用者も含む。

6. 生活支援

(1) クラブ活動

利用者の希望を取り入れて、絵画・音楽・書道・手工芸・レクリエーション等のクラブ活動を実施した。

(2) 茶話会

毎月1回茶話会を行い、工賃分配及び誕生会、話し合い、レクリエーション等を行った。利用者の親睦及び意見交換の場として大切に位置づけ、その月の誕生者にはプレゼントを渡し、また皆勤者にはその努力をたたえた。

(3) 社会活動

利用者が楽しく豊かな日常生活を送ることができるように、次のような地域社会の活動等に積極的にとりくんだ。

(4) 健康管理

- ・年1回の聖隷健診センターによる健康診断を実施した。
- ・月1回の体重血圧測定を行った。
- ・新型コロナウイルス感染症防止対策として、これまでのうがい手洗い、手指の消毒以外に換気や室内へのウィルス除去スプレーの散布等、万全の体制を整えて支援した。

7. 災害防止対策

実施日	訓練種目	参加者	発生時刻	内 容
令和2年 5/22 (金)	水害 非難訓練	利用者 25名 職員 5名 30名	13時00分	大雨による大雨警報発令・道路浸水による帰宅困難を想定する。備蓄用品（食料・水・寝袋など）確認する。また、浸水マップを確認した。
7/18 (土)	地震 津波避難訓練	利用者 24名 職員 3名 27名	10時00分	朝礼中に地震の発生を想定。机の下にもぐり、職員による安全確認後、ヘルメットを着用し駐車場へ避難誘導した。
8/22 (水)	火災 避難訓練	利用者 24名 職員 3名 27名	10時00分	台所より火災発生を想定。消火困難と判断。職員が避難指示を出し、屋外へ避難した。
11/7 (土)	地震 避難訓練	利用者 22名 職員 3名 25名	10時00分	地震発生を想定。机の下にもぐり、職員による安全確認後、ヘルメットを着用し、屋外へ避難した。
12/5 (土)	火災 避難訓練	利用者 20名 職員 3名 23名	10時00分	2階作業室より火災発生を想定。自動火災報知機が作動。職員が避難指示を出し、屋外へ避難した。
令和3年 2/13 (土)	不審者 防犯訓練	利用者 26名 職員 4名 30名	10時00分	みなみの南側門扉に不審者がいる事を確認し侵入するという想定で行った。支援者が椅子を使い不審者を確保する練習をした。

8. 地域公益事業

(1) 生活困窮者就労訓練事業の実態

自立支援機関（生活自立相談支援センター「つながり」）の斡旋に応じて、就労に困難を抱える生活困窮者の受け入れを継続している。

9. 福祉施設実習及び産業現場等における実習

職場体験実習の受け入れは3校であった。

月	来客者数		見学者数		実習者数		ボランティア数		備考
	令和2年度	令和元年度	令和2年度	令和元年度	令和2年度	令和元年度	令和2年度	令和元年度	
4	8	2	4				15	10	
5	19	11	1	5			18	10	
6	22	5	6	1		1	1	15	
7	12	4	3	3			2	3	
8	18	19	4	20			11	13	
9	10	10					1	3	
10	9	4	5	92		3	7	3	
11	8	2	3	30	1	1	2	3	
12	11	4		4	1	5	13	3	
1	8				1		5	3	
2	15	1	2	1			4	3	
3	24	4	2	4	2		3	12	
計	164	68	30	160	5	10	82	81	

IV まつかさ（就労継続支援B型事業所）

1. 施設運営

まつかさは、就労継続支援B型事業所として、「働く」という視点を重視し、就労の機会を提供することを心がけてきた。「施設外就労」が定着し、多くの利用者さんが、施設外での作業を経験することになり、働く力の向上につながった。

本人の希望や家族の思いが十分反映されるよう、面談を随時実施し、きめ細かな支援を心がけてきた。また通勤途中の交通安全と災害時の安全についても配慮し、その確保を行った。

特に令和2年度はコロナ禍にあり、緊急事態宣言が全国に宣言された時や、市内の感染状況が緊迫した時には、在宅での就労を希望した利用者さんに対しては、在宅支援（テレワーク）を実施した。

2. 中期経営計画（別紙）

3. 施設利用状況（定員20名）

項 目		単位	令和2年度 実績	令和元年度 実績	平成30年度 実績
施設利用状況	開所日数	日	259	258	256
	契約者数	人	20	21	22
	延べ人数	人	4,444	4699	5028
	1日平均	人	17.1	18.2	19.6
	利用率	%	85.8	91.1	98.2

・利用者の状況（令和3年3月31日現在）

地域別	浜 松 市							磐田市	掛川市	湖西市	合 計	
	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区				男	女
	12	3	1	2	2	0	0	0	0	0	20	
年齢別	18歳 ～19歳	20歳 ～29歳	30歳 ～39歳	40歳 ～49歳	50歳 ～59歳	60歳 ～64歳	65歳 以上	性別				
	1	10	5	2	1	0	1		15	6		
障害支援 区分別	区分6	区分5	区分 4	区分3	区分2	区分1	平均支援区分	未判定				
	0	0	5	6	4	0	3.1	5				
手帳所持別	身体障害者手帳					療育手帳		精神障害者保健福祉手帳			重複 所持	手帳 なし
	1級	2級	3級	4級	5級以上	A	B	1級	2級	3級		
	0	0	0	0	0	11	8	0	1	0	0	0

4. 就労支援事業：全体

（単位：円）

事 業	令和2年度収入	令和元年度収入	差 額
自主作業	360,817	320,652	40,165
受託作業	2,239,513	3,491,265	△1,251,752
合 計	2,600,330	3,811,917	△1,211,587

①自主作業

(単位:円)

作業種目	令和2年度収入	令和元年度収入	差 額
果 樹 園 芸	0	0	0
織 染 縫 製	360,817	320,652	35,515
合 計	360,817	320,652	35,515

②受託作業

(単位:円)

作業種目	令和2年度収入	令和元年度収入	差 額
農 場 整 備			
清 掃 作 業	2,239,513	3,491,265	△1,251,752
下 請 作 業			
合 計	2,239,513	3,491,265	△1,251,752

5. 工賃実績

(単位:円)

工 賃	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年度
総支給額	169,910	169,890	169,910	169,880	169,890	169,870	169,890	169,820	269,910	169,910	169,910	277,610	2,241,400	3,381,220
月額最高額	12,500	12,720	12,650	12,810	12,690	12,550	12,690	13,420	18,460	13,280	13,250	18,800	13,818	19,748
月額最低額	2,160	1,000	1,000	1,700	2,470	2,340	2,420	2,100	6,000	1,000	1,000	7,620	2,568	2,833
平均工賃月額	8,091	8,495	8,496	8,494	8,495	8,494	8,495	8,491	13,460	8,496	8,496	14,348	9,339	13,564

※令和2年12月は賞与(一律5,000円、¥100,000)、令和3年3月は年度末手当(一律5,000円、¥95,000)を含む。

※工賃支給対象者に、年度途中入所者、及び退所者、入院中の利用者も含む。

6. 生活支援

(1) 茶話会

毎月1回、月末に工賃分配と誕生者にはプレゼントを渡しお祝いました。

(2) 社会活動

利用者が楽しく豊かに毎日を送ることができるように、特に土曜日を利用して社会資源の見学やレクリエーション、ボランティアなどの活動予定であったが、コロナ禍のために実施ができなかった。恒例の社会体験旅行も中止し、代わりに事業所内でお楽しみ食事を催した。

7. 災害防止対策、交通安全・防犯講習

実施日	訓練種目	参加者	発生時刻	内 容
令和元年 8/12 (水)	防犯訓練	利用者 16名 職員 5名 21名	9時15分	浜松市中央警察署生活安全課の協力を得て、防犯に関する講習会を行った。突然の不審者侵入を想定した訓練を行った。
8/12 (水)	交通安全講習	利用者 16名 職員 5名 21名	10時30分	浜松市中央警察署交通安全指導課の協力を得て、交通安全に関する講習会を行った。実際に道路や交差点に出て訓練を行った。
9/23 (水)	避難訓練 火災・避難	利用者 17名 職員 5名 22名	9時30分	9:30に工房(和室)の保温器から出火を想定し訓練実施。避難後は、消火器の確認やガスボンベ式発電機の始動運転を行った。
11/2 (月)	防災訓練 地震・火災 ・避難	利用者 15名 職員 3名 18名	9時00分	9:00に日本シェイクアウト提唱会議の訓練音源を使って地震の発生を知らせ訓練を開始し施設長の話でまとめた。終了後に中消防署へ伝達訓練、市へ実施報告をメール送信した。
令和3年 2/13 (土)	避難訓練 地震・火災 ・避難	利用者 13名 職員 4名 17名	9時30分	内勤と施設外企業の2か所でそれぞれに実施。9:30に緊急地震速報の音を流し訓練開始。企業では地震の際に身を隠す場所が少ないことや一次避難場所が課題にあがった。
令和2年 3/11 (木)	防災訓練 地震・避難	利用者 16名 職員 5名 21名	9時30分	9:30に緊急地震速報を流し、30秒後に地震が発生の声とともに訓練を開始。終了後は1階2階に分かれてリモート形式でビデオを見ながら防災を学んだ。防災器具庫内の備蓄品について確認をした。

8. 福祉施設実習及び産業現場等における実習

実習の受入れは浜松特別支援学校1校であった。

月	来客者数		見学者数		実習者数		ボランティア数		備考
	令和2年度	令和元年度	令和2年度	令和元年度	令和2年度	令和元年度	令和2年度	令和元年度	
4	10	13	3	9	0	0	0	0	
5	17	22	1	6	0	0	0	0	
6	20	14	1	7	2	1	2	0	
7	20	20	3	12	0	8	6	0	
8	14	23	4	9	0	4	2	0	
9	16	31	1	10	0	0	4	0	
10	22	23	3	3	8	0	3	1	
11	19	23	2	0	0	6	5	9	
12	20	21	2	6	6	0	2	0	
1	13	25	0	1	1	0	2	0	
2	17	20	0	2	0	0	4	0	
3	6	24	4	3	0	0	4	0	
計	194	259	24	68	17	19	34	10	

まつかさ中期経営計画（別紙）

視点	2020年度行動計画	進捗状況	備考（考察、次年度の予定）
利用者の視点	① 利用者工賃は、平均月額12,000円を目指す ② トイレの増設計画を進める	△ ○	コロナ禍で作業量が減少し、平均工賃は9,339円と目標に届かなかった。今後も状況は変わらないが、新しい作業種目を開拓し平均工賃13,500円を目指す。 次年度には計画図面や見積等を確保し、助成事業への申請を行う。
財務の視点	① 利用者数を21名に、利用率90%を確保する ② 新型コロナウイルス感染症対策を進める ③ 老朽化した運搬車両を新しく替える	× ○ ○	現状の20名に留まり、利用率は86%であった。次年度は22名、95%を目指し、財務の安定を図る。 補助金事業を活用し、事業所でできる対策を進めた。感染症対策として、在宅での支援を希望する利用者には、在宅支援（テレワーク）を実施した。 次年度早々にもリース契約車に替える予定。
業務の視点	① 業務の分掌化、記録の見直し等を行い業務量を減らす ② 防犯マニュアルを調査、作成する。 ③ PPバッグの新商品開発、ブランド化を図る	△ × △	例年通りの分掌化は実施した。今後多くの記録について見直していく。 防犯マニュアル作成については進展がなかった。今後作成を進める。 新たにミニサイズの製品を開発し、事業所ショーケースでPRした。今後関われる職員を増やしブランド化を図る。
人材の視点	① スタッフの資質向上 ② 職員の交流に向けて交流実習を検討する ③ ボランティアを開拓する。年間延べ20人を目標	○ △ ○	職場外研修では、積極的にオンライン研修に参加した。今後法人契約のサボカレを積極的に受講していく。 次年度からはテーマ別研修などの研修制度が始まり、事業所間の交流が少しずつであるが活発になる。 コロナ禍にあるために新たなボランティアの開拓はできなかったが、現在の資源物回収等のボランティア数は年間延べ34人であった。今後、簡易販売所を起点に地域との関係を広げ、次年度は40人を目指す。

V やしま (共同生活援助：グループホーム)

1. 施設運営

- ・個別支援計画に基づいて利用者一人一人の希望や思いに寄り添い、心身共に安定した日々の生活の充実を図った。
- ・地域の一員として奉仕活動・防災訓練等、各種活動に参加し社会的マナーやルールを身につけ、自立した生活に向けて総合的な支援を行なった。

2. 中期経営計画 (別紙)

3. 施設利用状況

(1) 共同生活援助 (令和2年6月まで定員4名、令和2年7月より定員7名)

項 目		単 位	令和2.年度 7～3月 実績	令和2.年度 4～6月 実績	令和元年度 実績
施設利用状況	開所日数	日	274	91	365
	契約者数	人	7	3	4
	延べ人数	人	1,783	271	1,117
	1日平均		6.5	3	3.1
	利 用 率	%	93	75	76.5

・利用者の状況 (令和3年3月31日現在)

地 域 別	浜 松 市							磐田市	掛川市	湖西市	合 計	
	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区				7	
	2	0	4	1	0	0	0	0	0	0		
年 齢 別	18歳 ～19歳	20歳 ～29歳	30歳 ～39歳	40歳 ～49歳	50歳 ～59歳	60歳 ～64歳	65歳 以上	性別	男	女		
		1	1	2	1	1	1		7	0		
障害支援 区 分 別	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1	平均支援区分	未判定				
	0	0	4	3	0	0	3.57	0				
手帳所持別	身体障害者手帳					療育手帳		精神障害者保健福祉手帳			重複 所持	手帳 なし
	1級	2級	3級	4級	5級以上	A	B	1級	2級	3級		
	0	0	0	0	0	5	2	0	0	0		

(2) 短期入所 (定員1名) (令和2年8月1日より事業開始)

項 目		単 位	令和2.年度 8月1日～ 実績		
施設利用状況	開所日数	日	243		
	契約者数	人	19		
	延べ人数	人	306		
	稼働日数		162		
	稼働率	%	67		

・契約者の状況（令和3年3月31日現在）

地域別	浜松市							磐田市	掛川市	湖西市	合計	
	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区					
	4	1	5	7	0	0	0	1	0	1	19	
年齢別	18歳 ～19歳	20歳 ～29歳	30歳 ～39歳	40歳 ～49歳	50歳 ～59歳	60歳 ～64歳	65歳 以上	性別	男	女		
	0	6	9	3	1	0	0		19	0		
障害支援 区分別	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1	平均支援区分	未判定				
	6	1	6	3	3	0	4.21	0				
手帳所持別	身体障害者手帳					療育手帳		精神障害者保健福祉手帳			重複 所持	手帳 なし
	1級	2級	3級	4級	5級以上	A	B	1級	2級	3級		
	1	0	0	0	0	17	2	0	0	1	2	0

4. 支援内容

(1) 日常生活動作支援

食事、排泄、入浴、洗濯、清掃、身だしなみを整える等、手際の良い身辺処理ができるよう支援した。

(2) 余暇活動の支援

コロナ渦であり、外出・外食等の活動は控えることとなり、寮内での活動を中心にレクリエーション、身体活動、創作活動等、ご本人の希望をうかがいながら、出来る限りの支援を行った。

(3) 健康管理

内科・外科・歯科への通院の支援を行った。また、定期的に歯みがき支援や服薬管理を行った。

毎日朝夕の検温、お茶のうがいや手洗い及び手指の消毒の徹底等、インフルエンザの予防や新型コロナウイルス感染症防止対策を行なった。

(4) 菜園管理

野菜の栽培や収穫を体験し、料理に活用する等して菜園での活動を楽しんだ。

5. 災害防止対策

実施日	訓練種目	参加者	発生時刻	内容
令和2年 7/18 (土)	水害 停電 対応	利用者 7名 職員 2名 9名	6時00分	昨夜の大雨・落雷のため実際に停電した。台風の接近時・浸水・停電時等の対応について確認した。

実施日	訓練種目	参加者	発生時刻	内 容
令和2年 8/28 (金)	火災 非難訓練	利用者 7名 職員 3名 10名	17時00分	2階居室より火災発生を想定。支援員が、大声で火災が発生した旨を利用者に伝える。避難指示を出し、屋外へ避難する。
11/9 (月)	地震・火災 消火訓練	利用者 8名 職員 3名 11名	18時00分	遠州灘沖で震度7の地震発生に伴い火災発生を想定。消防署への通報・消火訓練（模擬）を行う。
12/21 (土)	火災 避難訓練	利用者 8名 職員 3名 11名	17時00分	台所より火災発生を想定。自動火災報知機が作動。避難指示を出し、誘導にあたる。屋外へ避難する。
令和3年 1/23 (土)	火災 避難訓練	利用者 7名 職員 2名 9名	6時00分	2階物置より火災発生を想定。自動火災報知機が作動。職員が避難指示を出し、屋外へ避難した。
2/8 (月)	不審者 防犯訓練	利用者 8名 職員 3名 11名	17時00分	やしまの門扉に不審者がいる事を確認し侵入するという想定で行った。支援者が椅子を使い不審者を確保する練習をした。

6. その他

- ①個別支援計画について、本人との面談を随時行う。また、隔月に支援会議を行う。
- ②虐待防止についてチェックリストを活用した。
- ③新型コロナウイルス感染症防止対策として、これまでのうがい手洗い、手指の消毒以外に換気や室内へのウイルス除去スプレーの散布等、万全の体制を整えて支援した。

VI あかね（共同生活援助：グループホーム、短期入所：ショートステイ）

1. 施設運営

・共同生活援助事業

知的な障害者に対して「住まいの場」を提供し、自立に向けた必要な技能や地域の中で生活していく為のルール等、総合的支援を行った。

また、利用者さんの思いによりそい、より個別化した支援が行えるよう努力した。相談支援事業所とも密接な連携を取りながら、利用者の意思決定を大切に生活の充実を図った。

・短期入所事業

家庭のレスパイト支援を優先し、自宅での生活が一時困難になった利用者が快適に過ごせるよう、食事の提供、入浴支援等を行った。また共同生活援助事業の利用者と気持ちよく過ごせるようコミュニケーションの疎通を図り、滞在する利用者個々の要望に沿った支援を行った。

2. 中期経営計画（別紙）

3. 施設利用状況

（1）共同生活援助（定員7名）

項 目		単位	令和2年度 実績	令和元年度 実績	平成30年度 実績
施設利用状況	開所日数	日	365	365	365
	契約者数	人	7	7	7 (H31.3~)
	延べ人数	人	2,449	2445	2,100
	1日平均		6.7	67	5.75
利 用 率	%	95.8	95.4	8.1	

・利用者の状況（令和3年3月31日現在）

地域別	浜 松 市							磐田市	掛川市	湖西市	合 計	
	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区					
	1	1	1	0	3	0	1	0	0	0	7	
年 齢 別	18歳 ~19歳	20歳 ~29歳	30歳 ~39歳	40歳 ~49歳	50歳 ~59歳	60歳 ~64歳	65歳 以上	性別	男	女		
	0	1	2	1	1	1	1		0	7		
障害支援 区 分 別	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1	平均支援区分	未判定				
手帳所持別	身体障害者手帳				療育手帳		精神障害者保健福祉手帳			重複 所持	手帳 なし	
	1級	2級	3級	4級	5級以上	A	B	1級	2級			3級
	0	0	0	0	0	5	2	0	0	1	1	0

（2）短期入所（定員1名）

項 目		単位	令和2年度 実績	令和元年度 実績	平成30年度 実績
施設利用状況	開所日数	日	365	365	365
	延べ利用者数	人	409	490	509
	稼働日数	人	300	269	287
	利 用 率	%	82.1	73.4	78.6

・利用者の状況（令和3年3月現在）

地域別	浜松市							磐田市	掛川市	湖西市	合計	
	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区				利用実人員	
	5	5	7	10	2	0	0	0	0	1	利用実人員 30	
年齢別	18歳 ～19歳	20歳 ～29歳	30歳 ～39歳	40歳 ～49歳	50歳 ～59歳	60歳 ～64歳	65歳 以上	性別	男	女		
	0	10	11	5	0	4	0		20	10		
障害支援 区分別	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1	平均支援区分	未判定				
	3	3	12	8	4	0	3.7	0				
手帳所持別	身体障害者手帳					療育手帳		精神障害者保健福祉手帳			重複 所持	手帳 なし
	1級	2級	3級	4級	5級以下	A	B	1級	2級	3級		
	2	1	0	0	0	27	3					

4. 支援内容

(1) 日常生活動作支援

食事、排泄、入浴、洗濯、清掃、身だしなみを整える等、手際の良い身辺処理ができるよう支援した。また、夜間の不眠者に対し、医療面の対応と同時に本人の気持ちに寄り添う支援を行った。

(2) 余暇活動の支援

休日には、市内の公園の散策、買い物支援等を行い、余暇時間の充実を図った。コロナ禍の中、地域で開催される行事の中止が多い中、法人のイベント等の外出の際のマナーやルールについて支援した。室内では料理やレクリエーション等の楽しみをもった活動を支援した。

〈あかね支援活動〉

活動名	実施回数	活動内容
レストランの日	0回	市内のレストランにて外食等は控えた。
市内散策	6回	浜名湖ガーデンパーク、浜松城公園、浜松市動物園、図書館、フルーツパークイルミネーション、都田運動公園、龍潭寺等。
年中行事	11回	入所利用者の誕生祝い、クリスマス会 他。
地域の行事参加	0回	百園自治会夏祭り、(福)和光会夏祭り等は中止。
販売会见学	1回	四季彩堂販売会见学。
移動支援	40回	移動支援サービスを利用し、外出する(1名)
買い物支援	月1～2回	随時買い物に同行する
料理	10回	焼きそば、お好み焼やサラダ、バーベキュー、流しそうめん、鍋料理、デザート作り等を楽しむ。
散歩・園芸	毎週末	近隣の散歩、プランターへの灌水、生け花
一人での外出	月1～2回	一人で路線バスを利用し、買い物等

共同生活をする仲間として、お互いを思いやる気持ちを大事にし、仲間意識を持てるようお互いが役割を持って参加し楽しめるよう支援を行った。

(3) 健康管理

内科・歯科・皮膚科・神経科への通院の支援を行った。また定期的に歯みがき支援や治療のための支援を行った。

帰宅後のお茶のうがいや手洗いの徹底をはかり、インフルエンザ等の予防を行った。

5. 災害防災対策

避難訓練を行った。

実施日	訓練種目	参加者	発生時刻	内 容
令和2年 7/8 (水)	地震	利用者 7名 職員 3名 その他 1名 11名	18時55分	夕食後に館内放送で地震発生の合図を行い、テーブルの下に隠れるよう指示した。揺れが治まり軽い地震であったことを確認し、リビングで待機した。 ※消火器の点検
8/7 (金)	火災・避難	利用者 7名 職員 3名 その他 1名 11名	19時58分	風呂場よりの出火を想定。煙を吸い込まないようにマスクやタオルで口を覆いながら駐車場へ避難した。またバケツリレーの消火訓練を行った。 ※消火器の点検
9/6 (日)	地震・避難	利用者 5名 職員 1名 6名	10時25分	館内放送で地震発生の合図を行い、テーブルの下やトイレに隠れた。揺れが治まってからヘルメットを着用し駐車場への避難を完了した。その後、ガスが使えないことを想定し、カセットコンロで防災食作りを行った。また、職員間の情報伝達訓練も行った。
12/6 (日)	地震・避難	利用者 5名 職員 2名 ショート 1名 8	9時55分	地震発生を想定。机やテーブルの下に隠れ、揺れが治まったことを確認してからヘルメットを着用して駐車場へ避難した。全員の無事を確認した後に、地域避難所の百里会館に移動し避難を完了した。
令和3年 3/3 (水)	火災・避難 通報	利用者 5名 職員 2名 その他 1名 8名	17時00分	台所よりの出火を想定し、消防署への通報訓練を行った。火災発生の合図でマスクで口を覆い、101号室の窓より東側の通路を通過して駐車場へ避難を完了した。